

めろん
目安箱

読者のみなさまからのご意見、感想、コメントをお寄せください！ QR コードもしくは info@mafga.or.jp まで。

メロン、丸い形は地球に見える？メロンのようにおいしく、その表面の網目のように緻密なネットワークを広げる月刊情報誌をめざします！



[シリーズ]

排外主義に對抗する

前月号から始まったシリーズ「排外主義に對抗する」の第2回は、2025年11月8日（土）に開催された「多民族フェスティバル 2025」の舞台裏にせまる。国籍やことば、世代などの「ちがい」を越えて地域で暮らす人たちが共同で「まつり」をつくりあげることを通して、相互の理解を深め、多文化なまちづくりを進めることを目的に、2006年度から箕面市内で開催してきたこのフェスティバル。小野原公園から多文化交流センターに場所を移して2年目。公園で開催していた時と比べてこじんまりと見えるかもしれないが、その裏側にはこの時代の状況を鑑みたまざまな挑戦があった。2回にわたり、そのねらいや思いなどを紹介する。（坂口）

#2 「多民族フェスティバル 2025」を終えて（前編）

地域と協会で作る実行委員会

多民族フェスティバルの主催は実行委員会。地域の国際化に関係する市民団体や学校園、協会内のボランティアグループなど今年度はのべ76名（25団体）が参加し、6月から準備を始めた。毎回の会議では、小グループで意見を交わすワークショップの時間を必ず設ける。その中では、事務局スタッフだけでは思いもつかないアイデアや指摘が出されるので、毎回貴重な時間となっている。

「会場が狭くなった中、本当に来てもらいたい人は誰なのか？」という問いには、中学校の先生が「まだ協会のことを知らずにいたり、興味はあってもつながれていない若い世代の当事者」という意見が出され、皆頷いていた。また、「出店していると、なかなかカフェの列に並ぶことができない」という声を受け、今年度は運営関係者向けに前売り券を販売したところ、レジに並ばずに商品が買えると好評だった。2階の会場やステージの様子が1階のカフェからは見えなくて楽しめない、という声を受けて、YouTubeを使って2階のステージの状況をコムカフェで生配信してみたところ、リンクを共有された人は別会場でも後日でも様子が確認できるようになった。（張、坂口）



ロシアのダンス、ベルシヤンダンス、タイの剣の舞、ブラジルの武踏、サックス二重奏、朝鮮舞踊…と今年のステージは6団体が発表した。なかでも「でことぼこ」は、若者のサックス演奏デュオだ。会場にゆったりと流れるジブリのメドレーを聞かれた方も多と思うが、このグループは実は即席で発足したものだった。元子ども事業

ステージで自分を表現！



に参加していたバリトンサックスの達人が、数年前はソロ演奏を披露してくれたのだが、今回は新しく組んだデュオのデビュー戦として出場することになっていた。ところがその相方が急病になり、一時は出場を断念しかけたところ、チカノバカフェのインターン生がピンチヒッターを引き受け、急ごしらえのコンビが出来上がった。事前にたったの二回だけ音合わせをしたとは思えないほど息が合っていた。今後はもともとの相方も一緒にチカノバで三重奏を披露したいとのこと、普段は持病もありなかなか精力的に動けない中で、今後につながる展開となった。（野崎）

No.220 発行元・返還先：（公財）箕面市国際交流協会

【賛助会員数】個人：289名 法人：23団体（12月11日現在）

〒562-0032 箕面市小野原西5-2-36 多文化交流センター内

Tel： 072-727-6912

Fax： 072-727-6920

E-mail： info@mafga.or.jp

Web： https://mafga.or.jp



「世界の手料理」を提供するキッチンでは…

コムカフェの「世界の手料理」は、フェスティバルの大きな目玉の一つだ。来場者のほとんどは、カフェのメニューを一つは食べていると思う。担当職員のエネビシによると、意外にも「多民族フェスティバルだから特別なことをする訳ではない」という。厨房は、毎年5月に開催されるコムカフェの周年イベントと大きく変わらないらしい。それでも実行委員の中から当日だけ参加するボランティアがいたり（キッチンのメンバーは「人手はほしいが、多ければいいものでもない」ということで、適材適所で動けるようになるまでは緊張感が走ったりもする）、普段はなかなか集まることのないシェフたちがにぎやかに厨房を仕切る光景は、さながら同窓会のような雰囲気だ。当日のメニューは、毎月のシェフ会議で一緒に決めている。今年はナタリヤさんの「ピーツとデーツのサラダ」や、へバさんの鶏つくねのケバブサンドが初登場。つくねはオーブンで焼いたあと、炭火であぶりなおす手の込みようで、毎年楽しみに来てくれるお客さんたちも感動していた。回を重ねるごとに力をつけ、職員や先輩スタッフらにもどんどん鋭いつっこみが入るなど、せわしくも笑いに満ちた厨房は、シェフや有償スタッフたちの底力を実感する日となっている。（野崎）



箕面市では毎年、5名程度の外国人市民を「防災アドバイザー（以下、アドバイザー）」として採用している。アドバイザーと協会および箕面市役所の担当者で企画会議を持ち、そこで決まった方針にそって、アドバイザーは外国人市民の意識啓発に取り組んでいる。かれらは、外国人市民の視点から日常的に感じる疑問や、必要とされる情報を提案し、地域の防災体制づくりを進めている。「Nothing about us without us（我々のことを、我々抜きで決めるな）」は障害者運動の重要なスローガンであるが、「外国人と防災」というテーマにおいても欠かせない視点である。

防災アドバイザーによる「防災ベンチ」見学会

今回、フェスティバルの企画として、アドバイザーとともに小野原公園にある地域防災ステーション（箕面市内に60か所設置されているうちのの一つ）を見学するワークショップを実施した。秋晴れの心地よい天候に恵まれ、少人数ではあったが、アドバイザーと豊川南小校の地区防災委員たちがともに資器材の使い方をじっくり確認した。第5期アドバイザーで、箕面市在住20年近くになる中国出身の尤さんは、「一見するとただのベンチに見えるものの中に、災害時に役立つ資器材がたくさん収納されていることに驚いた。今回のワークショップでは、防災ベンチの設置理由を知り、実際に触れながら学ぶことができた。アドバイザーとしての知識や立場を生かし、日本の文化や言葉にまだ不慣れな外国人市民の架け橋になりたい」と話す。今回の取り組みは、来年1月に開催予定の「外国人市民のための防災Week～地震・災害に備える、日本の防災を知る～」においてもアドバイザーたちから情報提供される予定だ。

見学時には箕面市の市民安全政策室の職員も同行し、10月には地区防災委員の方たちとも事前学習会をおこなった。単なる防災ステーションの説明にとどまらず、互いに自己紹介を行い、小野原地域が変わってきた様子をきくなど交流の時間を意識的に設けた。短いひと時ではあるが、こうしたやり取りこそが「外国人市民」という大括りて認識されていた相手を「地域に住む一人の住民」として認識するきっかけとなる。それは外国人市民にとっても同様で、「日本人」という抽象的な存在が「地域の防災委員をしており、小野原のことをよく知る〇〇さん」という具体的な人物へと変わるのである。「ヘイトに抗う」というと大きなことに思えるかもしれないが、互いを属性ではなく名前呼び合える関係をつくることこそが、市民レベルで取り得る最も身近な「抵抗」方法であり、最善の方法だと考える。毎年1月17日に開催される全市一斉総合防災訓練では、アドバイザーが協会職員とともに避難所受付業務を担当する。訓練という場を通して、地域住民と等身大で出会い、互いを知り合う機会をこれからも広げていきたい。（末原）

ページの都合により、今回初めて取り組んだ「企画運営ワーキンググループ」や振り返りの様子は次号に掲載する。

ECCジュニアで楽しく英語を学ぼう！

小野原教室

小学1-3年生クラス 16-17時
小学4-6年生クラス 13-14時

場所：箕面市立多文化交流センター
電話番号：05071193794
メール：c_rieyama@icloud.com

QRコード

ECCジュニア

大阪大学 × MAFGA
学生・若者が地域とつながる居場所

ひとこま

活動日時：水曜日 10:00～15:00
木曜日 11:00～16:00

対象：どなたでも
場所：大阪大学箕面キャンパス3F
（テラスと食堂の間の廊下）
祝日、年始年末はお休み
*休日のための振替日は水曜日のみ

QRコード

チカノバ

テーマは「フード」×「アート」×「ハート」！

★ギャラリー（水～日）
10：00～21：00

★カフェ（水～日）
（comm cafe2号店）
11：00～20：30
（日曜～18：00）
※水・木・金
14:00～16:00はクローズ

北大阪急行線・箕面船場阪大前駅 改札階（地下3階）
〒562-0035 大阪府箕面市船場東 3-7-35 箕面市立市民ギャラリー
072-734-8711（ギャラリー）／072-734-8722（カフェ）

“お茶”の文化は、世界中にある。ものや作法は異なっても、お茶の時間は憩いの時間であることに違いはない。日常の余白となる「お茶の時間」には、その国や地域の文化や特色が色濃く出ている。これから、様々な国の“お茶”をめぐり、それを取り巻く文化や環境、淹れた人の物語を紡いでいく。このコラムでみなさんもホッと一息ついていただけたら。(湯川)

comm cafe で初めて出会った姜茶。聞いたことのない中国のお茶。その黒い色に目が吸い込まれる。一口飲むとふんわりまろやか。美味しい。はじめての味。癒される味。日本に来て 20 年、元 comm cafe 担当職員^{ちようあかね}の張茜さんに話を聞いた。

シリーズ世界のお茶 No.1

からだにやさしい黒いお茶
「姜茶 (ジャンチャ)」

——姜茶って何が入っているのですか？

姜茶は、中国では「^{ホンダンジャンチャ}红糖姜茶」という名で、故郷ではなじみのある飲み物です。原料は生姜と黒砂糖。茶葉を使わない、ゆず茶のようなものです。

——中国ではどのような時に飲むのですか？

日々の生活の中で漢方的に飲んでます。体を暖めるお茶で冬に飲むことが多いです。朝食後や就寝前に一日 1～2 杯、水分補給としても飲みます。貧血の人や風邪のとき、体が弱っている時や疲れたときにも良いですよ。中国ではナツメやクコ、リュウガンなどを入れる人もいます。中国のホテルでは冬にサービスで出してくれたりします。人を迎え入れるお茶、寒い季節のおもてなしの意味もあります。日本の冬は寒く湿気が体にこもるので、湿気を外に出す、体をいたわる効果もあります。中国には日本でよく知られているウーロン茶など以外に色々なお茶がありますが、日本の市場には出てこないの、体にも良い漢方的なお茶として飲んでほしいです。

——姜茶は comm cafe でいつでも飲めますか？

はい、カフェの営業中 (水曜と祝日以外の月曜は定休) はいつでも飲めます。

このコラムは、お茶を注ぐ人を次につなげていきます。次は誰がどんなお茶を注ぐのか、乞うご期待！



唐木幸子バレエスタジオ

やさしいバレエの基本動作を正しく身につけて
美しい姿勢と健康を保ちましょう

「ロシア国立ペルミバレエ学校日本校」のバレエ教授法 (Diploma) 取得



唐木幸子バレエスタジオ 検索



TEL 072-721-2576

〒562-0041 箕面市桜 4-1-24 阪急牧落駅前

(公社) 日本バレエ協会会員・AODT 会員



国際交流協会（MAFGA）からのお知らせ

日本語&相談にかんする連続講座を開催します！

2026年1月、主に日本語支援・外国人相談に携わる人向けの研修を連続しておこないます。
テーマに関心のあるかたならどなたでも参加可能です。ぜひ、この機会にあなたも学んでみませんか。

日本語研修連続講座	1/10 (土) 14:00-16:00	言葉を教える、その前に ～当事者の背景に目を向けよう～ ◎ 原文次郎（一般社団法人反貧困ネットワーク・外国人支援担当理事）
	1/18 (日) 14:00-16:00	識字日本語研修会合同開催 リプロダクティブ・ジャスティスの視点から日本の地域社会を見る ◎ 田中 雅子（上智大学総合グローバル学部教員、社会福祉士）
	1/30 (金) 13:30-16:30	テキスト『外国人のための 日本語で学ぶライフプラン -健康で安心して暮らすために-』を使った実践のヒント ◎ 高向 有理（西日本短期大学別科 日本語研修課程 別科長、日本語教師）
相談研修連続講座	1/9 (金) 13:30-16:30	「反貧困ネットワーク」の現場から ◎ 原文次郎（一般社団法人反貧困ネットワーク・外国人支援担当理事）
	1/27 (火) 13:30-16:30	過疎地域の「ともくら」による相談対応（仮題） ◎ アジズ アフメッド（特定非営利活動法人共に暮らす・代表理事）

対 象：テーマに関心のあるかたはどなたでも
場 所：多文化交流センター
参加費：無料
申込み方法および各回の詳細については、準備ができ次第、ホームページでご案内します。



協会ホームページ

多文化体験 1/7 (水) 14:00-16:30	多文化体験・交流・学びクラブ「まふがっこ」 地域の子もたちが地域に暮らす外国人市民と「アート」を介して交流し、違う感性や物の見方を体験します。 ◎中川ナバラウィー（タイ出身） ◎麻 梁子（中国出身）	対 象：小学5年生～中学3年生 場 所：多文化交流センター 参加費：無料 申込み：QRコードから	 申込み
ボランティア募集 1/18 (日) ※切	みのおポスト英語編集・翻訳ボランティア募集 箕面市からのお知らせを多言語で発信（記事作成・翻訳）します。 ※一部の作業に謝礼あり 【説明会】①1月20日（火）10:00～12:00 ②1月24日（土）13:30～15:30（いずれも、多文化交流センターにて開催）	対 象：以下の全てを満たす方 ・月1～2回の会議に出席できる ・パソコン操作ができる ・日本語で編集作業やメールができる ・左記説明会のいずれかに参加できる	 申込み
ワークショップ 1/25 (日) 14:00-17:00	合成うるして直す 簡易金継ぎのワークショップ 合成うるしと樹脂パテで割れた器、欠けた器を3時間で直します。割れた器割れが2～3ピースで揃っている陶器をお持ちください（ガラス不可）。 ※所定の人数に達しない場合は開講しません	定 員：10名（申込順） 場 所：市民ギャラリー「チカノバ」 参加費：6,600円（材料費込み） 申込み：1/21までに右記フォームもしくはTEL 申込み・問合せ：072-734-8711	 申込み
キューズリビング 1/28 (水) ① 10:30-12:00 ② 13:30-15:00	食でつながる、このひと、この世界 地域で暮らす外国人市民を講師に迎え、食をテーマに文化や講師の経験を紹介します。サミーさんの出身地、カナダ・ケベック州の食べ物について話をします。 ◎講師：サミー クロード ベルジェロン	場 所：キューズリビング（みのおキューズモール） 参加費：550円（要申込） 定 員：各回5名 申込み：QRコードから	 申込み

KIMONO CHALLENGER 着物教室

初めてでも大丈夫！ Let's enjoy wearing Kimono!

初心者向けの着付け教室を始めます

基本の着付けから学べます

海外の方も大歓迎！簡単な英語対応可

講師は着付け技能士1級（国家試験）取得

お問い合わせ anitomo23@outlook.jp



CERES_KIMONO

インスタもあります！



他団体からのお知らせ

問合せ・申込みはそれぞれの団体へお願いします。

講座

1/9 (金)
18:30-20:30

メディア・リテラシー オンライン連続講座 第2回

メディアにおける差別とデマ〜外国にルーツをもつ人々の経験から考える〜

外国にルーツをもつ人々が「いないもの」として扱われてしまうようなメディアの現実やデマ、フェイクニュースの問題とそれらの影響について考える。

◎ 田口ローレンス吉孝 (沖縄大学 地域研究所 特別研究員)

参加費: 無料

場 所: オンライン

申込み: 右記 QR コードから

問合せ: 06-6843-4343

(とよなか国際交流協会)



申込み

ワークショップ

1/12 (月・祝)

① 10:00-13:00
② 14:00-17:00

まなびカフェ「仏師が教える彫刻ワークショップ」

像以外にも動物や小物など自由な題材で教えていただけます。彫刻刀がはじめてのお子さんでもどうぞ。

◎ 真野 明日人 (仏像彫刻師)

場 所: らいとびあ 21

参加費: 1,000 円 (小学生以下 500 円)

申込み・問合せ: 072-722-7400

(らいとびあ 21)

TEL で
申込み

コンサート

1/12 (月・祝)

12:45-

沖縄からの風コンサート

今年で 16 回目を迎える「沖縄からの風コンサート」を、初めて箕面市内で開催する。三線演奏やエイサー、琉球舞踊やフラなど、お楽しみください。 ◎ 榮 百々代 (奄美民謡) ほか

場 所: メイプルホール 小ホール

参加費: 無料

申込み: 不要

問合せ: 沖縄からの風コンサート実行委員会
miyako0389@gmail.com申込み
不要

セミナー

毎月第三木曜日

1/15 (木)
19:00-20:00

マンズリー多文化サロン ロシア語編

「エストニアの中のロシア語と『ロシア人』」

大阪大学の教員が、諸外国・諸地域の文化や生活などを紹介。
*オンライン (Zoom) でも参加可能 (HP から要事前申込み)

◎ 横井 幸子 (大阪大学 人文学研究科 教授)

参加費: 無料

場 所: 大阪大学箕面キャンパス 1F 大講義室

申込み: 不要 (会場参加)

外国語学部 HP から (Zoom)

主 催: 大阪大学外国語学部

申込み・問合せ: 072-730-5013

Zoom 参加
申込み

上映会

① 1/24 (土)
14:00-16:30② 1/31 (土)
14:00-16:30③ 2/6 (日)
14:30-16:30

みんなく映像民族誌シアター

「みんなく映像民族誌」シリーズから、3 つの収録作品を上映し、監修者によるトークをおこないます。

①「奄美大島の八月踊り」…旧暦 8 月ごろに演じられる「八月踊り」について、シマウタとのかかわりなどを紹介する。

②「ジャフの影絵芝居、海を渡る」…言葉と文化の壁を越えてジャフ芸能を伝えるジャワ人芸術家たちの試行錯誤を映し出す。

③「ラージャスターンのガンゴール祭礼」…ヒンドゥー教暦新年にガンゴールにまつわる祭礼をめぐる人びとの思いと現代インドの地方都市住民の姿を浮き彫りにする。

参加費: 無料

場 所: ①・③第七芸術劇場

②シアターセブン

(大阪市淀川区十三本町 1-7-27)

申込み: 右記 QR コードもしくは

TEL (06-6878-8210)

問合せ: 国立民族学博物館 企画課
博物館事業係

申込み

セミナー

1/28 (水)
14:00-15:30

箕面市職員向け 人権セミナー

「言葉のヤングケアラー」をなくすために

群馬県で多文化共生の取り組みをおこなう「共に暮らす (略称: ともくら)」の紹介を通して、「言葉のヤングケアラー」をなくすために、地域でどのようなことができるかを考える。

◎ アジズ・アフメッド (NPO 法人「共に暮らす」代表理事)

参加費: 無料

場 所: 箕面市役所 委員会室

申込み・問合せ: 072-724-6707

(箕面市人事室)

TEL で
申込み

姉妹都市

2/1 (日)
10:30-12:00

国際協力都市ハット市オンラインツアー

ニュージーランド・ハット市との国際協力都市提携 30 周年を記念し、ハット市からライブ中継! 現地の観光スポットをオンラインで巡ります。



定 員: 30 名 (申込多数の場合抽選)

場 所: 市民ギャラリー「チカノバ」

参加費: 500 円

申込み: 1/9 までに右記 QR コードから

問合せ: 箕面市文化国際室 (072-724-6769)



申込み

coupe de Minami

スクール coupe de MINAMI 南プロカッティング研究所

町屋で楽しく洋服をつくってみませんか?

ボディに布を直接
のせて服をつくって
みましょう!
(立体裁断)

南正枝 プロフィール (略歴)

昭和 42~45 年 フランス・パリの洋服学校にて立体裁断、
デザイン等を修得

昭和 45~47 年 カネボウ Christian Dior アトリエでデザイナー

昭和 47 年以降 大学および専門学校での講師経験多数

◆リフォームや服のお仕立てもいたします! ◆パターンや立体裁断も教えます。◆詳細はホームページあるいは下記まで直接お電話ください!

●問合せ: 〒562-0012 箕面市白島 2-2-30 電話 / FAX 072 (721) 4151

E-mail info@coupe-de-minami.com URL http://www.coupe-de-minami.com

1 月
January

comm cafe ランチカレンダー

コム カフェ

こちらは、多文化交流センター (小野原) のコムカフェ 1 号店のメニューです

- ベジタリアン、ハラル、アレルギー対応については、カフェのスタッフまでお気軽にお尋ねください。
- メニューやシェフは変わることもあります。
また急きょ、協会主催事業により貸切になることもあります。
- 詳細は、Facebook/Instagram をご覧ください。



ホームページ



Facebook



Instagram



AirPAY を導入しました!

クレジット決済、各種電子決済、
QR コード決済がご利用いただけます。

火・木～土

9:30-11:30

カフェタイム

11:30-14:00

日替わりランチ (1,100円)

14:00-17:00

カフェタイム

日・祝日

9:30-17:00

カフェタイム

カフェタイムはスナック・ドリンクを提供します

おしらせ

2025 年 4 月から 1 号店 (小野原) の営業日が変わっています (水曜定休です)。水曜は箕面船場阪大前駅「チカノバ」にある 2 号店がオープン (11:00-14:00&16:00-20:30) していますので、ぜひそちらをご利用ください。(クーポン利用可!)

ス… スナックの日

イ… カフェで開催するイベント

げつようび	かようび	すいようび	もくようび	きんようび	どうようび	にちようび
			1	2	3	4
				1 月 3 日 (土) まで店休日		ス MAFGA スナック
5	6	7	8	9	10	11
休館日	ス MAFGA スナック	店休日	ス MAFGA スナック	ス MAFGA スナック	ス MAFGA スナック	ス MAFGA スナック
12	13	14	15	16	17	18
祝日 ス MAFGA スナック	ス MAFGA スナック	店休日	ルーパさん 《インド》 VEG ラクトベジタリアン	協会事業のため カフェはお休み です。	協会事業のため カフェはお休み です。	ス MAFGA スナック
19	20	21	22	23	24	25
休館日	ノックさん 《タイ》	店休日	ヘバさん 《シリア》 HALAL	山口さん 《中国》	ティさん 《ベトナム》	ス MAFGA スナック
26	27	28	29	30	31	
休館日	ルーパさん 《インド》 VEG ラクトベジタリアン	店休日	ティさん 《ベトナム》	洪さん 《コリア》	ホーさん 《香港》	

「めろん」 編集スタッフ

【ボランティア】井嶋眞佐子、荻野克彦、黒田アリサ、崔聖子、鳥羽山良平、山下三千世、湯川あさ子、鷺尾則昭

【事務局】宇治野清隆、岩城あすか、河合大輔、坂口ピーター、野崎ターラー